



九州歯科大学

公開大学院講義

第11回歯工学連携講演会

樹状細胞，歯周病原菌や酸化 LDLに対する抗体，動脈硬化

(Dendritic Cells, antibodies reactive with periodontal organisms & oxLDL, and atherosclerosis)

Dr. John G. Tew

日時：平成23年9月26日(月)16:30-18:00

場所：九州歯科大学本館4階 402講義室

概要

歯周病原菌である*P. gingivalis*や*A. actinomycetemcomitans*によって誘導される低比重リポ蛋白(LDL)と反応する抗体には，抗ホスホリルコリン抗体や β 2-グリコプロテインI-依存性の抗カルジオリピン抗体などがある。メカニズムモデルにおいては，これらの抗体によって歯周病を動脈硬化や有害な妊娠成績に関連づけられるかもしれない。

演者の紹介

Dr. Tewは長年に渡って濾胞性樹状細胞に関する免疫学的な研究を行ってこられました。また，歯周病研究の領域でも歯周病原細菌に対する抗体産生を中心に研究を重ねてこれ多大な業績を残されています。

問い合わせ先：歯周病制御再建学分野 中島(内線2032)